

iColor Accent 型番 iAC-001-1, iAC-001-4, iAC-001-8

ユーザーガイド 取扱説明書

カラーキネティクス・ジャパン株式会社 • 〒135-0063 東京都江東区有明2-5-7 TOC有明ウエストタワー7F
TEL 03 3527 7760 • FAX 03 3527 7771 • INFO@COLORKINETICS.CO.JP • WWW.COLORKINETICS.CO.JP

この度はアイカラーアクセントをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。このユーザーガイドではアイカラーアクセントの操作方法および安全な使用方法についての重要事項を説明しています。製品を正しく安全にお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこのユーザーガイドをお読みください。また、必要なときにご覧になれるよう大切に保管してください。

- 各ライトの付属品
- iAC-001-1 ... 取付台1個(ダブルタイプ)
 - iAC-001-4 ... 取付台3個(シングルタイプ)
 - iAC-001-8 ... 取付台4個(シングルタイプ)
 - 落下防止ワイヤー取付用具、ネジ2個(各タイプ共通)
- 落下防止ワイヤーは、状況に合わせてお客様側でご準備をお願いします。

1. はじめに

1-2 アドレスの設定

重要: iColor Accentは出荷時にライトナンバー(iAC-001-1: ライトNo.1、iAC-001-4: ライトNo.1~4、iAC-001-8: ライトNo.1~8)が設定されています。照明の用途や設置の目的等によって他のアドレスが必要な場合にはiColor Accentを設置する前に、すべてのライトナンバー(DMXアドレス)を設定しておく必要があります。

[1] 複数のライトに異なるアドレスを設定する場合

- (1) 電源を切った状態でPDS-500eに1台のライトを取り付けます。
- (2) PDS-500eのData InポートにZapiを接続します。
- (3) PDS-500eに電源を接続します。
- (4) Zapiを使用してアドレスを設定します。
- (5) 電源を切ってアドレス設定されたiColor Accent本体を取り外します。
- (6) 各ライトに手順(1)~(5)を繰り返します。

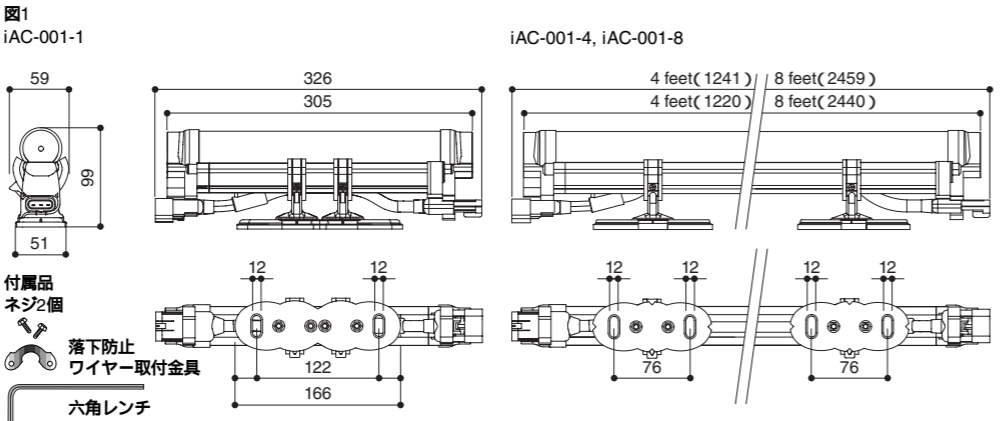
[2] 複数のライトに同じアドレスを設定する場合

- (1) 電源を切った状態でPDS-500eに複数のライトを取り付けます。(1台のPDS-500eに48feet分まで接続可能です。)
- (2) PDS-500eのData InポートにZapiを接続します。
- (3) PDS-500eに電源を接続します。
- (4) Zapiを使用してアドレスを設定します。接続されたiColor Accentにアドレスがセットされます。
- (5) 電源を切ってアドレス設定されたiColor Accent本体を取り外します。

[3] シリアルナンバーを利用してアドレスを設定する場合

- 全てに接続された状態でもライトのシリアルナンバーを指定することで、1feetごとのアドレス変更が可能です。iAC-001-1(1アドレス) iAC-001-4(4アドレス) iAC-001-8(8アドレス)
- (1) 電源を切った状態で1台目のPDS-500eのData InポートにZapiを接続します。
 - (2) PDS-500eに電源を接続します。
 - (3) Zapiを使用してアドレスを設定します。
 - (4) 各ライトのシリアルナンバーを入力することで、続けてアドレスの設定が可能です。
 - (5) Zapiを外し、元の状態にもどします。iAC-001-4、8では、1台のみを接続した状態でシリアルナンバーを使用した設定が可能です。

1-1 製品各部の名称と寸法



注意

スタンドアロン設定はできません。

2. 設置方法

トランスキット(型番PWR-PDS-500e)から最初のライトまでの距離が15.2mであり、1系統当たり最大24フィートである事を念頭において下さい。

2-1 配置

配置の方法としては以下の2通りがあります。図2a)トランスを中ほどに配置し、両サイドに向けて伸ばします。

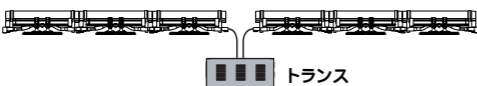
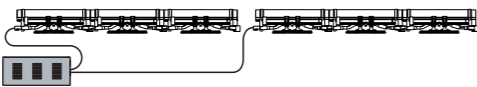


図2b)トランスをiColor Accentの並びのどちらかの端に配置する。



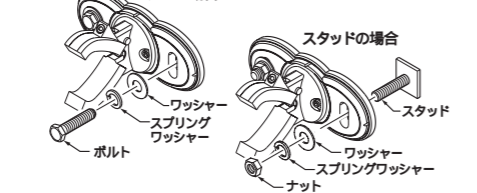
トランス

2-2 ライトの固定

[1] 取付台の固定

- 取付台をライトの設置位置に合わせて先に固定します。ライトと取付台の位置は下記の条件内で行って下さい。
- iAC-001-1: ダブルタイプ 1個、ライトの中心±2.5cmの位置に
 - iAC-001-4: シングルタイプ 最低3個、両端から最長30.48cm 最短4.76cm、中心±2.5cmの位置に
 - iAC-001-8: シングルタイプ 最低4個、両端から最長30.48cm 最短4.76cm、中心±60.96cmの位置に取付台の使用数は必ずお守り下さい。

図3



[2] 落下防止ワイヤーの取付

付属の金具とビスを使用し、ワイヤーをライトに取付けます。ワイヤーはお客様側でご準備下さい。ワイヤーのもう一方を建築物に取付けて下さい。(図4参照) 締め付けトルク(2.28N・mm) ステンレス仕様: 直径2~6.4mm 耐荷重 295kg 7線7芯(47本)のより線

iAC-001-4, iAC-001-8

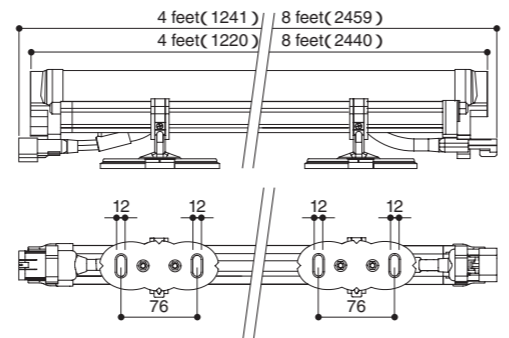
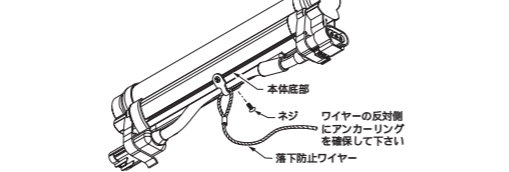


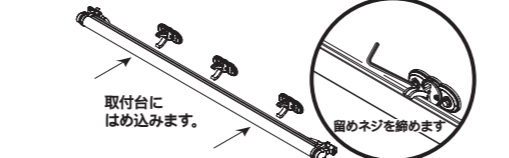
図4



[3] ライトの取付

- (1) ライトを取付台に差し込みます。この時、オスとメスコネクターの向きにご注意下さい。トランス側にオスコネクターが来るようにして下さい。
- (2) 留め具のネジを適度に締めて下さい。配列の具合を調整するために多少の余裕を持たせて下さい。
- (3) 位置が確定しましたら留め具のネジを六角レンチで締めて下さい。上記の手順をくり返し行って下さい。

図5



2-3 接続方法

トランスキット(PWR-PDS-500e)にはケーブル(15.2m×2本)が付属しています。このケーブルを使用して、ライトとトランスを接続します。トランス側は先バラ、ライト側はメスコネクターになっています。(図6参照)

[1] トランス側の接続方法

トランスに付属しているスクリューターミナルに赤(DC 24V) 白(DAT A+) 黒(GRAD)をつなぎ、差し込みます。(図7参照)

[2] ライト側の接続方法

付属ケーブルのエンドキャップを外し、メスコネクターとライトのオスコネクターをつなぎます。この時、確実につないで下さい。差し込みが十分でない点と点灯や、防水性能が機能しない場合があります。

図8



[3] ライト同士の接続方法

ライトのオスコネクターとメスコネクターを接続します。ライト同士を離して設置したい場合は、中間ケーブル(AC-CAB001P 別売)をご利用下さい。(図9参照)

図6

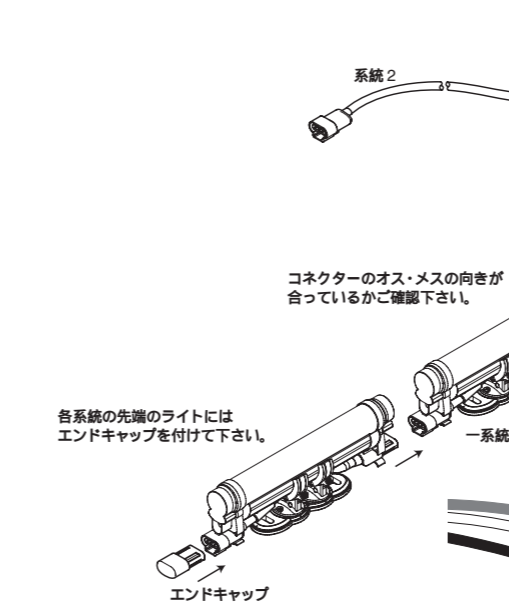


図7

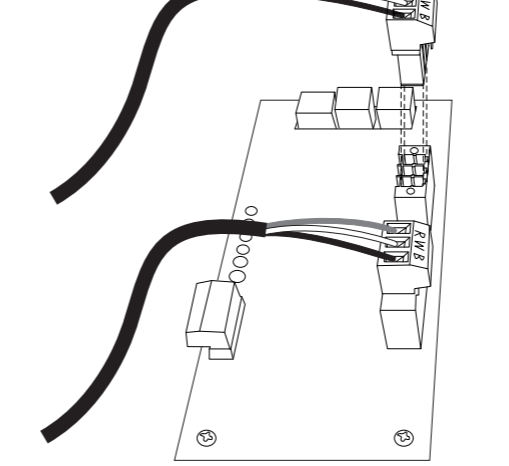
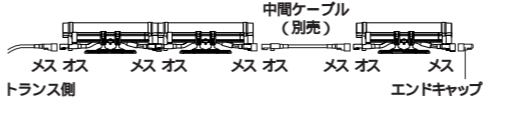


図9



3. その他の機能

3-1 温度モニタリング機能

温度の異常な上昇時の製品保護のためにiColor Accentには温度モニタリング機能を持っています。動作温度が危険なレベルまで上昇した場合、保護回路が起動してiColor Accentの動作を中止し、暗い赤を点灯します。温度が下がると自動復帰しますが、原因をつきとめて対処し、再発防止を努めて下さい。

4. 用語解説

ライトナンバーとDMXアドレス
本製品はライトナンバーとして1~170まで別々の設定が可能です。(Zapiではライトナンバーによってアドレス設定します) DMXアドレスでは1灯につき3chが必要で、170灯で510chを使用する事になります。ライトナンバーとDMXアドレスの関係は以下の通りです。

ライトナンバー	1	2	/				169	170				
DMXアドレス	1	2	3	4	5	6	505	506	507	508	509	510
対応色	R	G	B	R	G	B	R	G	B	R	G	B

R:赤 G:緑 B:青
DMXとDMX512
DMXはDigital MulpIeX(デジタル多重送信システム)の略。異なるメーカーの照明コントロール機器の相互接続を可能にしたデータ送信の規格です。DMX512プロトコルは照明操作卓から調光を行うためのインターフェースの規格を作るためにUSITT(米国演劇協会)の委員会が1982年に開発されました。

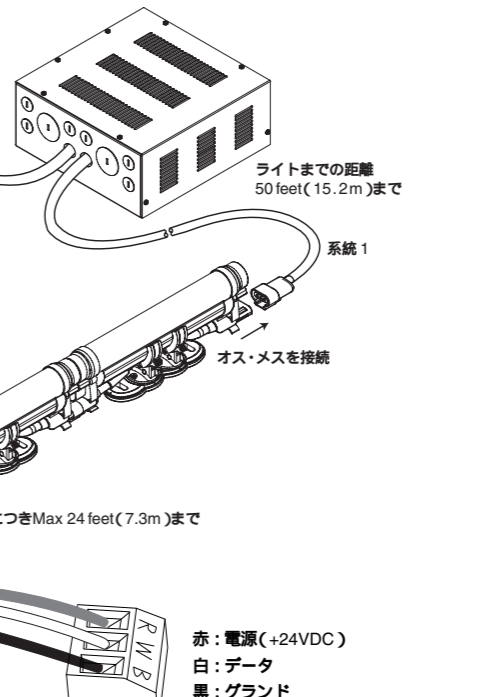


図9



製品の仕様は予告なく変更することがあります。

6. 安全上のご注意

照明器具のご使用について

警告

- 火災のおそれがあります**
- 不安定な場所で使用しないでください。
 - 器具を布・紙などでおおったりしないでください。また、カーテン・揮発物などの燃えやすいものに近づけないでください。

感電・火災のおそれがあります

- 器具及び部品の改造をしないでください。
- 器具のすきまに、異物(金属や燃えやすい物など)を差し込まないでください。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、電源コードに重いものをのせたり、電源具に近づけたりしないでください。

感電・火災のおそれがあります

- 異常時(煙が出たり、変なにおいがする等)には、速やかに電源を切ってお買い上げの販売店にご相談ください。

感電のおそれがあります

- 器具のお手入れの際には、必ず電源を切ってください。

注意

- 必ずメンテナンス可能な場所に設置してください。
- 器具を水の中につけて洗わないでください。感電や火災の原因となることがあります。
- 器具の近くに温度の高くなるストーブや、発熱体を置かないようにしてください。器具の変形や火災の原因となることがあります。
- 器具に表示された定格電圧以外の電圧で、使用しないでください。定格電圧を超えた電圧でご使用になりますと、火災の原因となります。
- 防雨形器具ですが、風呂場等の湿気が多い場所には取付け出来ません。感電・火災の原因となることがあります。
- 合板やベニアなどの柔らかい木材には取付けしないでください。取付けに不備があると落下の原因となることがあります。
- 器具の保守・お手入れ等で、無理に回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。器具の転倒や落下によるけがの原因となることがあります。
- ランプの着脱の際は、両手で静かに扱い、取付けは確実にこなしてください。落下によるけがの原因となることがあります。
- 明るく安全に使用していただくために、器具を定期的に(6か月に1度程度)清掃、点検してください。器具のネジや部品のゆるみがないか、損傷、脱落、コードの痛みがないかお調べください。発火・火災の原因となることがあります。

「ストロボ効果」についての注意

- ストロボ効果は一部の影響を受けやすい人に、てんかん発作を誘発する可能性があると言われていいます。食品医薬品局によれば、米国政府はまだ関連製品についての警告を出していません。ストロボ効果の使用については、いくつかの国際機関が点滅回数を毎秒4回以下に保つことを勧めています。この程度であれば点滅に敏感でも発作を誘発する危険性が減ると思われます。この点滅回数は直視する閃光全体に適用される目安ですが、ストロボ効果を2つ以上の製品使用する場合は、同時に点滅が起こるようにしてください。また、ストロボを使用する際は事故を未然に防ぐために、ストロボを使用しているのに注意するよう呼びかけることをお勧めします。

お願い

- めれた手で器具にさわらないでください。
- 器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー、ベンジン等の揮発物でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・破損の原因となります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いたやわらかい布で仕上げて下さい。
- お読みになりましたら、このユーザーガイドは、いつでも見られる所に、大切に保存してください。ご不明な点がありましたら、販売店にご相談ください。

7. 保証について

本製品の保証期間はご購入日より1年間となっております。保証期間中に、ユーザーガイド等の注意書きにしたがった正常な状態で本製品が故障した場合には、当社所定の方法により無料で修理または交換をさせていただきます。お買い上げの販売店もしくはカラーキネティクス・ジャパンまで連絡ください。(なお、特別に訪問をおこなった場合や引取サービスをご利用いただいた場合には、別途サービス料を申し受けます。)

保証期間中でも、次のような場合には修理・交換の対象となりませんのでご了承ください。

- ご使用上の誤り、または改造、誤接続による故障および損傷の場合。
- 火災・地震・水害・落雷およびその他の天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧や指定外の電源使用による故障および損傷の場合。
- 接続している他の機器に起因して本製品に生じた故障および損傷の場合。
- お買い上げ後の輸送や移動および落下等、不適当なお取り扱いにより生じた故障及び損傷の場合。

製造基準

本製品はISO9002の承認を得た工場で製造されています。

米国内及び海外での特許申請

当社は、当社の照明製品及び制御装置の購入者に対し、クロマコアを個人的に使用できるが譲渡不可能な使用権を許諾しています。クロマコアは当社が特許を取得した技術で、イルミネーション、ディスプレイ、及びデザインに使用されるLEDベースの色変化照明器具をネットワーク上で制御できる技術です。この使用許諾権は当社だけがその付与を認めるものであり、当社の承認なしに譲渡することはできません。LEDベースの色変化照明をネットワーク制御する技術を使って、他の製品を設計、複製、製造、又は販売することは禁止されるかもしれず、また、そのような行為はこの文面では許可されていません。